



しあわせ

HAPPY NETWORK

NO.39 令和6年9月発行

発行：
守山市民生委員児童委員協議会
編集：広報啓発委員会
事務局：守山市社会福祉協議会
住所：守山市下之郷三丁目2番5号

私たちは

「こんにちは赤ちゃん訪問」を 行っています



守山市からの委託を受け、平成19年から「こんにちは赤ちゃん訪問」を行っています。赤ちゃんのすこやかな成長を願って、安心して子育てができるよう支援するため、地域の民生委員・児童委員が「おめでとう」の気持ちを込めて訪問しています。

★訪問時期

生後3ヶ月頃と1歳の誕生日を迎えられた月頃

令和5年度 実績	3ヶ月児	644件
	1歳児	804件

★訪問内容

子育てに役立つ情報提供や、育児に関する不安や悩みについての相談

- ★民生委員・児童委員には守秘義務がありますので、安心してご相談ください。
- ★訪問時に、守山市から交付された「赤ちゃん訪問者証（黄色）」を携帯しています。

🍀 赤ちゃん訪問時のお願い 🍀

事前に担当地区の民生委員・児童委員からお電話しますので、ご対応をお願いいたします。連絡先を伺っていない場合等で、ご自宅に直接訪問することがあります。連絡が取れない場合は郵便受けへ不在票を入れますので、そちらに記載の連絡先まで、ご都合のつく日時をお知らせください。

訪問先の声

地域の民生委員さんが来てくださることで、何かあった時に相談できる人がいる、という安心につながっています。



Fさんご一家

お祝いのプレゼントをお渡ししています



3か月



1歳

(写真は一例です)

民生委員・児童委員のPRイベントを開催しました!



滋賀県民生委員・児童委員キャラクター
「びわっ湖 ミンジー」

5月12日は民生委員・児童委員の日。その日から1週間は活動強化週間です。守山市民生委員児童委員協議会では、5月14日にモリーブでPRイベントを開催しました。イベントでは4つのコーナーを設け、スタンプラリーを実施。たくさんの市民の方々に、地域の身近な相談相手「民生委員・児童委員」の存在を知っていただきました。

① びわっ湖ミンジー紙芝居・絵本の読み聞かせ

紙芝居と絵本の読み聞かせを通して、地域のみなさんに、地域の方が困っていることや心配なこと、なんでも相談に乗っている民生委員・児童委員と、主に子どもを見守っている主任児童委員の活動を伝えました。



③ びわっ湖ミンジーぬり絵・パタパタカード作り体験

ウインドサーフィンをするびわっ湖ミンジー等のぬり絵を、大人も子どもも楽しみました。また、パタパタカード作りでは、とってもかわいい図柄の楽しいカードが出来上がり、お土産に持ち帰られました。



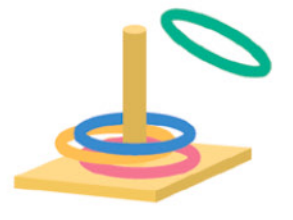
② 民生委員・児童委員活動パネルの展示

パネル展示のコーナーでは、来られた方の学区をお聞きして、その学区の民児協活動パネルへ案内しました。パネルを見て多くの方が「初めてこんな活動をされていることを知りました」「私も何か協力したいです」などと話されていました。



④ レクリエーションコーナー

スカットボール、輪投げ、ボール投げはどれも好評でした。ゲーム板の穴にボールをクラブで打って入れるスカットボールは、人気があり、子どもはボールを抱えて穴に入れて喜んでいました。



ご存知ですか？ 障がい者施設 vol.8



社会福祉法人湖南会 蛍の里

蛍の里は重度の知的障害のある方の住まいと活動の場として、平成6年4月に開所して今年で31年目を迎えました。

日中活動では散歩や、ビーズを使用したアームバンドやキーホルダー作りをしています。ビーズ製品については、「おうみんち」や「ほたるの湯」で販売をしています。



これからも「ひろがれ笑顔・輝けいのち」をスローガンに、地域に開かれた施設になる



るように取り組んでいきたいと思っています。今後とも、ご支援ご協力をお願いいたします。



社会福祉法人湖南会 蛍の里

所在地：守山市洲本町字井関52番地
電話：077-585-8850
FAX：077-585-8891



体験記

地域での連携プレー



民生委員・児童委員は、見守り支え合い活動や友愛訪問等、ひとり暮らし高齢者の安否確認を定期的に行っています。

ある冬の日、老人クラブの役員さんが総会を欠席したAさんの家に資料を届けに行ったところ、中からうめき声が聞こえてきました。異変に気付いた役員さんが、民生委員に連絡。すぐに地域包括支援センターへ相談しました。息子さんに連絡を取り、開錠してもらったところ、風呂場で動けなくなっていたAさんを発見。すぐに救急搬送、入院され、命に別状はなくホッとしました。

日頃から、自治会や各種団体の理解と協力のもと、地域包括支援センター等関係機関との連携プレーの大切さを再確認することができました。
(小津学区 K. I.)

編集後記

PRイベントで活躍した「びわっ湖ミンジー」の着ぐるみが、県内各地でも大人気です。「ひこにゃん」や「くまモン」のように親しまれる日がきっと来ると感じます。アヒルの親子のようにミンジーの後をついて回るちびっ子、お尻をふりふり踊り出す子どもたち。ミンジーの親しみやすさやかわいさは、対面した人々の姿に表れています。ミンジーが民生委員・児童委員の地域での支え合いや、子育てを応援する活動のつなぎ手となっています。これからもミンジーの着ぐるみをどんどん活用し、民生委員の啓発を行っていきたいです。

(守山学区 M. S.)